

新年のごあいさつ



市長 黒田実

新年あけましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

旧年中は、市政の運営に格別のご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、大阪北部地震、平成30年7月豪雨、台風21号など、いずれも近年に例を見ないほどの自然災害が発生し、交野におきましても、多くの建物等への被害や倒木が発生しました。改めまして、被害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。

市としまして、被害への復旧対応や、ブロック塀等の撤去・改修補助を府内でも先駆けて導入するなど、災害対応に努めたところですが、自然災害への備えの重要性を痛感した一年でした。

今年、新しい元号へと変わりゆく年になります。平成となった当時、65歳以上の高齢者はおよそ12人に1人の割合でしたが、現在は4人に1人を超えました。30年前、本市の小学校児童数は約5250人でしたが、現在の在籍児童数は約4110人です。

昨年秋、多くの皆様のご信任をいただき、2期目の重責を担うこととなりましたが、少子高齢化・人口減少が進む中、交野の活力を維持し、皆様の暮らしを支える市民サービス・行政機能を維持していくためのこれまでに、5つの重点政策を掲げました。

1つ目は「子どもが元気に成長する環境づくり」。若い世代の方々に交野を選んでいただくよう、待機児童の解消や妊娠から子育てまでの切れ目ない支援など、安心して子どもを産み育てる環境づくりや、義務教育9年間を見通した小・中一貫教育、言語活用力の向上、外国語教育の充実、プログラミング教育など、これからの時代を「生きる力」を育む教育を目指して参ります。

2つ目は「支え合う健康・福祉のまちづくり」。年齢を重ねても、いつまでも元気に住み慣れた地域で暮らせるよう、健康寿命の延伸や地域包括ケアの充実を図るとともに、児童発達支援センター整備など障がいがある人への切れ目ない支援にも取り組んで参ります。

3つ目は「みんなで安全・安心なまちづくり」。災害時において、避難や発災直後の対応から復旧・復興も含めた防災マネジメントの拠点として、市役所は重要な公共施設です。老朽化が進む庁舎の整備に向け、具体的な検討を始めるとともに、浸水対策や土砂災害対策など、地域全体の防災力強化を図ります。

また、これまで防犯カメラ設置や防犯灯LED化などの防犯対策を進めてきましたが、暮らしの安全・安心を守るために、地域防犯力の支援・強化に努めて参ります。

4つ目は「地域の活力と雇用を生む基盤づくり」。星田北まちづくりへの支援やシティプロモーションの推進など、住民誘致や企業誘致に繋がる都市基盤整備や魅力発信と、地域産業の

活性化・雇用創出に向けての取り組みを進めます。

5つ目は「未来へつなぐ環境づくり」。里山保全や都市農業支援など、すばらしい交野の自然を守り、次世代に引き継ぐための取り組みや、公共施設の再生可能エネルギー導入によるCO2削減など、環境にやさしいまちづくりをさらに推進します。

また、これからのまち全体の未来を見据えた中、長期的な総合計画や都市計画マスタープランの改訂に着手します。

重点政策につきましては、改めて「市長戦略」としてお示しさせていただきますが、市の課題やまちづくりの方向性について、市民の皆様と「共有」「共感」を大切にし、その為の「発信」に努めながら、市役所一丸となつて交野を一步前へ進めて参りたいと考えております。

市政運営に対しまして、さらなるご理解・ご協力を心よりお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして、健やかで幸多き一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

